

「課題研究」シラバス

学科	商業科	学年	3年	類型		組	5組	単位数	3
使用教科書									
副教材等	インターンシップ実習の手引き								

1 学習の到達目標

- (1) 商業の各分野に関する課題を設定し、その解決策を探求する学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決能力や主体的かつ協働的な学習態度を身に付ける。
- (2) 進路希望などに応じて適切な職業資格に関する課題を設定し、取得する意義や職業との関係などを探求するとともに、専門性の高い職業人になることを目指し継続的に学習する態度を養う。
- (3) インターンシップを通して、これまで学習した知識や技術の実践力を高めるとともに、自己の職業適性を考え、勤労観や職業観を身に付ける。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と100点法の評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

①知識・技能	商業の各分野について実務に即して体系的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けられているか。	(3)(6)(7)(9)(10)(11)(12)
②思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づき創造的に解決できるか。	(3)(5)(4)(6)(7)(9)(10)(11)(12)
③主体的に学習に取り組む態度	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組めるか。	(1)(2)(4)(5)(7)(8)(11)(12)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)研究や活動、協同作業の取組 (2)実習や講義、検定試験への参加	
計画や活動の状況	(3)年間や活動計画書 (4)活動の進捗度 (5)日誌・アンケートの記入	
学習活動や作品の成果	(6)報告書や作品の完成 (7)資格の取得状況 (8)進路への活動状況	
報告書や発表	(9)報告書やスライド資料の完成 (10)プレゼンテーションの状況	
地域との連携活動	(11)インターンシップの取組 (12)地域の行事やボランティア等の取組	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	1 オリエンテーション	・「課題研究」の意義や内容を把握し、実践を通して研究し理論的に課題を解決していくことと、継続的に学習に取り組むことを理解する。	(3)
	2 インターンシップ	・各事業所での実習を通して、専門的な知識や技術、ビジネスマナーを学び、自身の職業適性や将来設計について考え、主体的に職業選択能力や職業意識を高める。	(11)(10)
	3 調査・研究 I (1) 地域の産業と観光 (2) 職業と資格 (3) 進路と職業	・それぞれの分野について、仮説を立てて検証していくなど研究の見通しをより明確にする。 ・産業や観光における現状や課題を把握し、事例研究や地域のニーズを分析して、最適な解決方法を考察する。 ・資格取得の意義や職業との関係を理解し、試験の特徴や出題内容を分析して、効果的な取得方法を考察する。 ・目標とする職業や進路に役立つ情報を収集し、自分の適性から課題を発見して、解決策を主体的に考察する。	(3)(6)(10)
二 学 期	4 調査・研究 II (1) 地域での実践 (2) 資格の取得 (3) 進路探求	・実践した調査結果からデータを分析し、仮説や課題を検証して、その改善策などを提案する。 ・調査結果を集計・分析する際に、より深い知識や高度な技術を習得する。	(3)
	5 表現活動 (1) 作品および報告書 (2) プレゼンテーション	・報告書や論文の構成や書き方を理解し、適切な情報と主張内容をまとめて、ストーリーを論理的に組み立てる。 ・簡潔で効果的なスライド作成の方法を理解し、研究内容の要点をまとめ、明確で伝わりやすい発表を心掛ける。	(9)(10)
三 学 期	6 自己評価と反省	・成果や実践の中で不十分だった点を問題点として取り出し、更に高めたい点を課題として取り出す。	(7)

備考 (1)(2)(4)(5)(12)については、全ての単元において評価項目として用いる。